交付運用報告書

Asset Management One

ＵＳストラテジック・インカム・アルファ 毎月決算型

追加型投信／内外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。
さて、「ＵＳストラテジック・インカム・アルファ 毎月決算型」は、2019年２月25日に第63期の決算を行いました。
当ファンドは、米ドル建て外国投資信託への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年８月24日～2019年２月25日

第58期	決算日：2018年９月25日
第59期	決算日：2018年10月23日
第60期	決算日：2018年11月26日
第61期	決算日：2018年12月25日
第62期	決算日：2019年１月23日
第63期	決算日：2019年２月25日

第63期末（2019年２月25日）	基準価額	8,888円
	純資産総額	2,487百万円
第58期～第63期	騰落率	3.4%
	分配金合計	160円

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 0120-104-694
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）

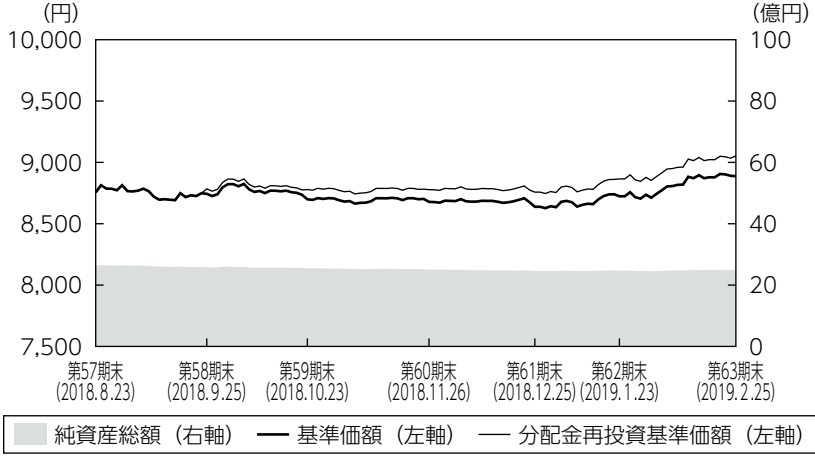
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2　http://www.am-one.co.jp/

運用経過の説明

基準価額等の推移



第58期首：　8,755円
第63期末：　8,888円
（既払分配金160円）
騰　落　率：　3.4%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国債券市場では、作成期後半にリスク回避の動きから安全資産への逃避需要が強まり、米国債利回りが低下（価格が上昇）した環境下、国債、モーゲージ債を中心にプラスのリターンとなりました。また、クレジット・スプレッド（米国債と社債の利回り格差）が拡大し、リターンが相対的に低調だった社債セクターの中で良好なリターンを上げたヘルスケアセクターの銘柄選択などもプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

なお、2018年12月並びに2019年１月に為替ヘッジを行っていた際に円高推移したため、為替ヘッジ効果はプラス寄与となりました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラス	1.3%
ＤＩＡＭマネーマーケットマザーファンド	0.0%

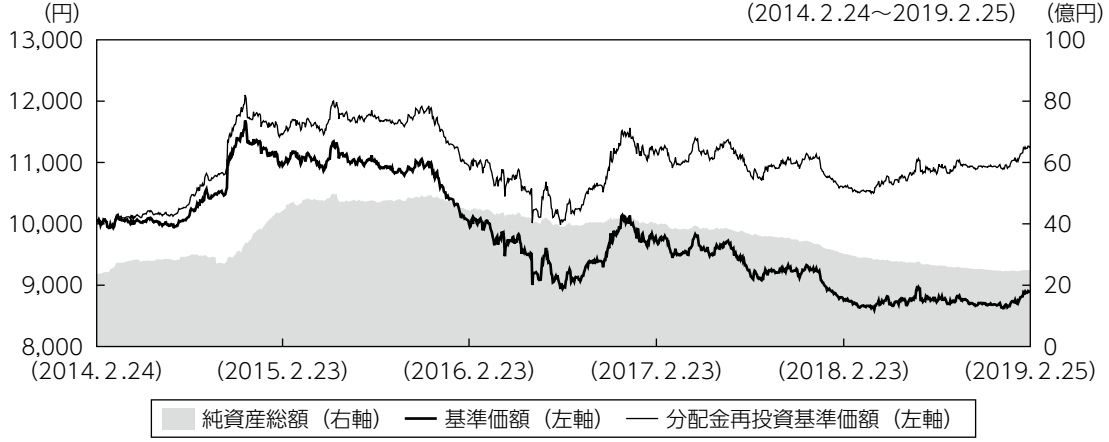
（注）ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラスの騰落率は米ドルベースで、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。なお、当作成期の米ドルのＴＴＭ（東京の対顧客電信売買相場の仲値）の騰落率は0.0%となりました。

１万口当たりの費用明細

項目	第58期～第63期 (2018年８月24日 ～2019年２月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	43円	0.492%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,732円です。
(投信会社)	(17)	(0.192)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(24)	(0.279)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.022)	受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	1	0.008	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	44	0.500	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

最近５年間の基準価額等の推移



（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2014年２月24日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年2月24日 期首	2015年2月23日 決算日	2016年2月23日 決算日	2017年2月23日 決算日	2018年2月23日 決算日	2019年2月25日 決算日
基準価額（分配落）　(円)	10,055	10,944	9,997	9,728	8,751	8,888
期間分配金合計（税引前）　(円)	－	480	480	480	480	400
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	13.9	△4.5	2.3	△5.3	6.3
純資産総額　(百万円)	2,365	4,417	4,439	4,002	3,022	2,487

（注）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

米国債券市場では、10年国債利回りが低下しました。作成期初から2018年11月初旬までは、堅調な米国経済を背景にＦＲＢ（米連邦準備理事会）が利上げペースを加速するとの観測から10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。しかし、11月中旬から年末にかけて、米中の貿易摩擦を巡る不透明感や株式市場の下落などを背景に10年国債利回りは急低下し、年明け以降も利上げ期待の後退などから、10年国債利回りは作成期末まで低水準で推移しました。

為替市場では、作成期前半は米雇用統計などの経済指標が良好だったことや、それに伴い米長期金利が上昇し日米金利差が拡大したことなどから米ドルが対円で堅調に推移しましたが、作成期末に、米長期金利の低下により日米金利差が縮小したことや、ＦＲＢ議長が追加利上げを急がない姿勢を示したことなどから円買い圧力が強まり、前作成期末比では米ドルは対円で横ばいとなりました。

国内短期金融市場では、３ヵ月物国庫短期証券利回りは作成期初から△0.15％程度で推移していましたが、2018年10月に入ると需給要因によって△0.32％程度まで急低下しました。その後は上下に推移しながら、作成期末にかけて概ね△0.21％程度まで上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

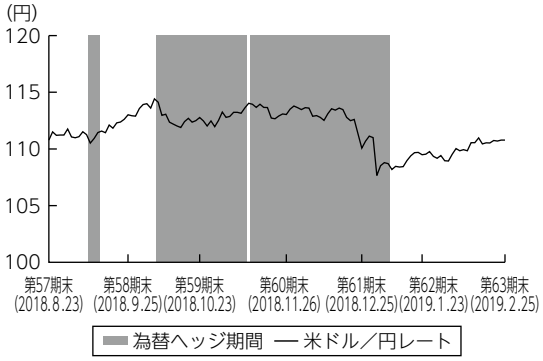
ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラスの組入比率は原則として高位を維持し、ＤＩＡＭマネーマーケットマザーファンドへの投資も行いました。

為替ヘッジ戦略については、市場の変動率が高まっていた下記期間に為替ヘッジを実施しました。

為替ヘッジ期間：2018年９月７日～９月11日、10月５日～11月８日、11月12日～2019年１月９日

※為替ヘッジ取得および為替ヘッジ解消のオペレーションは原則として東京時間午前中に実施しています。

＜為替ヘッジ戦略＞



●ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラス

米中貿易摩擦の長期化による企業収益の悪化や追加利上げによる景気への悪影響などが警戒された環境下、国債の組入比率を引き上げた一方、社債の組入比率を引き下げました。社債がクレジット・サイクルの終盤に位置していることを考慮し、良質な裏付け資産を持つ資産担保証券の保有を継続しました。モーゲージ債は、米国金利が低下し期限前償還が加速する可能性が高まったため、組入比率を引き下げました。

●ＤＩＡＭマネーマーケットマザーファンド

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2018年8月24日～2018年9月25日	2018年9月26日～2018年10月23日	2018年10月24日～2018年11月26日	2018年11月27日～2018年12月25日	2018年12月26日～2019年1月23日	2019年1月24日～2019年2月25日
当期分配金（税引前）	40円	40円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.46%	0.46%	0.23%	0.23%	0.23%	0.22%
当期の収益	40円	40円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	1,564円	1,570円	1,574円	1,578円	1,586円	1,597円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、ＤＩＡＭマネーマーケットマザーファンドへの投資も行います。円高ドル安が予想される局面では一時的に為替ヘッジを行い、基準価額への為替変動リスクの低減をめざします。

●ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラス

ＦＲＢが追加利上げに関して慎重な姿勢に転じたものの、直近で大幅に下落した金利は、緩やかに上昇する可能性が高いと見ています。金融引き締め策の休止により、社債市場のクレジット・サイクルが延びる可能性もありますが、社債については、質が高く、良好なバランスシートを有する銘柄の選別を重視します。今後も元本の保全とリスクに見合ったリターンの獲得をめざす方針です。

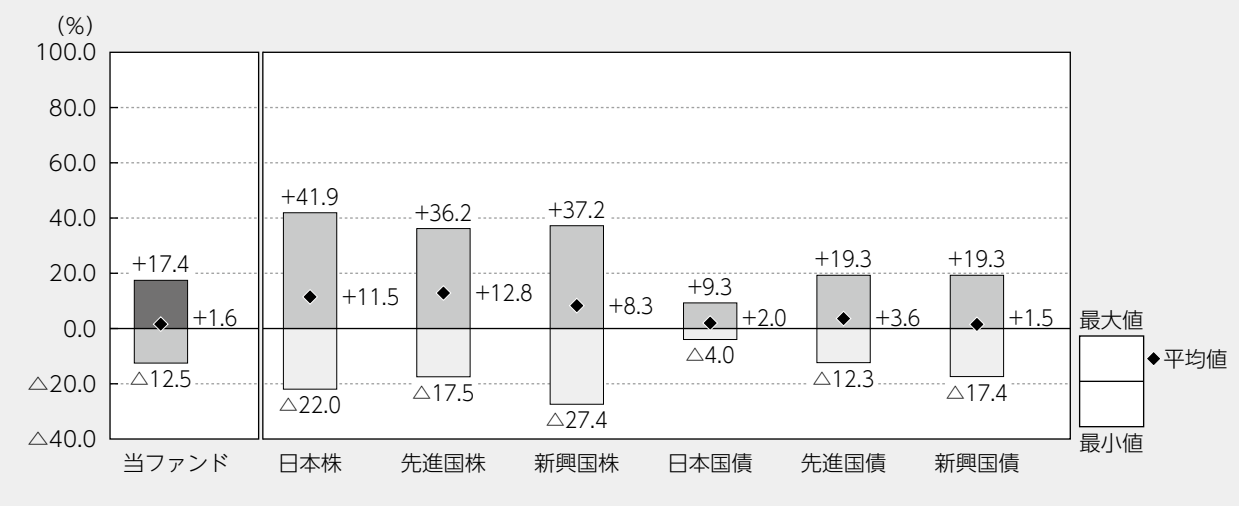
●ＤＩＡＭマネーマーケットマザーファンド

日銀の金融政策の物価目標２％までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを中心に運用を行っていきます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2013年11月25日から2023年８月23日までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	米ドル建て外国投資信託である「ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラス」の投資信託証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託である「ＤＩＡＭマネーマーケットマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	米ドル建て外国投資信託への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資します。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 外国投資信託の対円での為替変動リスクについては、委託会社独自の手法により、円高・米ドル安が予想される局面においては、為替予約取引を活用して為替ヘッジを行います。
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド　　：2014年11月～2019年１月
代表的な資産クラス：2014年 2 月～2019年１月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

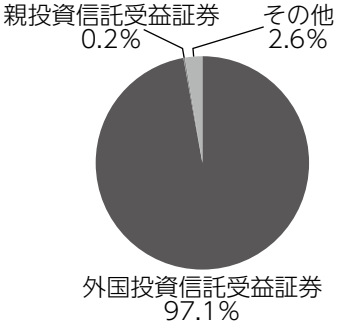
当ファンドの組入資産の内容（2019年２月25日現在）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：２ファンド）

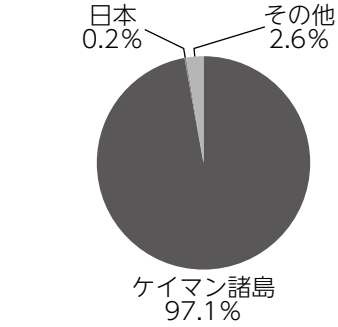
	第63期末
	2019年2月25日
ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラス	97.1%
ＤＩＡＭマネーマーケットマザーファンド	0.2
その他	2.6

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

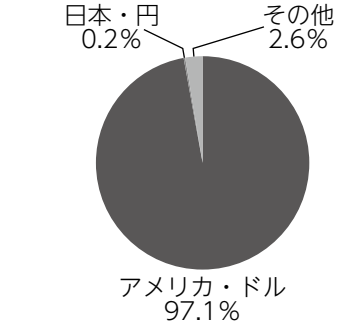
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
（注３）当ファンドの実質的な外貨建資産については、当ファンドにおいて為替動向に応じて対円での為替ヘッジを行っています。第63期末における為替ヘッジはありません。

純資産等

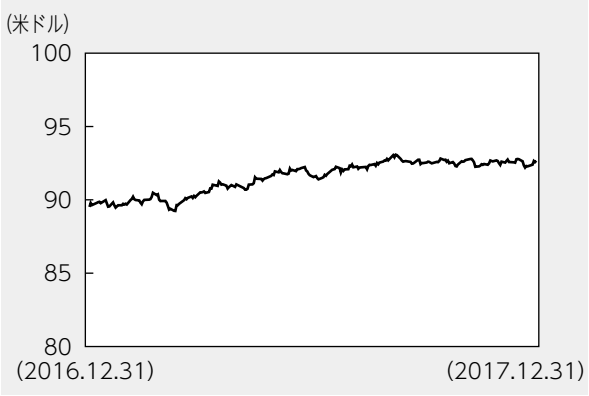
項目	第58期末	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末
	2018年9月25日	2018年10月23日	2018年11月26日	2018年12月25日	2019年1月23日	2019年2月25日
純資産総額	2,581,408,292円	2,545,405,913円	2,505,766,572円	2,460,329,257円	2,469,257,207円	2,487,172,424円
受益権総口数	2,952,333,889口	2,926,087,668口	2,887,377,304口	2,848,153,181口	2,830,549,274口	2,798,421,986口
1万口当たり基準価額	8,744円	8,699円	8,678円	8,638円	8,724円	8,888円

（注）当作成期間（第58期～第63期）中における追加設定元本額は18,343,884円、同解約元本額は226,984,186円です。

組入ファンドの概要

［ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラス］（計算期間　2017年1月1日～2017年12月31日）

◆基準価額の推移



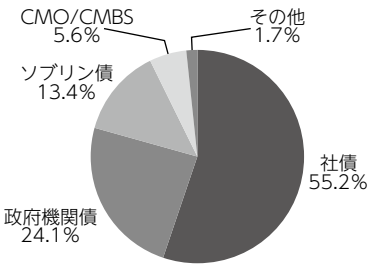
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US TREASURY N/B 1.750% 11/30/19	アメリカ・ドル	3.9%
FGLMC POOL# G60989 3.000% 12/01/46	アメリカ・ドル	3.7
FNMA POOL# AL8316 5.000% 2/1/44	アメリカ・ドル	2.4
FGLMC POOL# G67706 3.500% 12/01/47	アメリカ・ドル	2.3
US TREASURY N/B 2.750% 08/15/47	アメリカ・ドル	2.0
FGLMC POOL# G07848 3.500% 04/01/44	アメリカ・ドル	1.9
US TREASURY N/B 2.250% 11/15/27	アメリカ・ドル	1.5
US TREASURY N/B 1.375% 09/30/19	アメリカ・ドル	1.2
FNMA POOL# BH8655 4.000% 08/01/47	アメリカ・ドル	0.8
FNMA POOL# BD5482 4.000% 07/01/46	アメリカ・ドル	0.7
組入銘柄数	513銘柄	

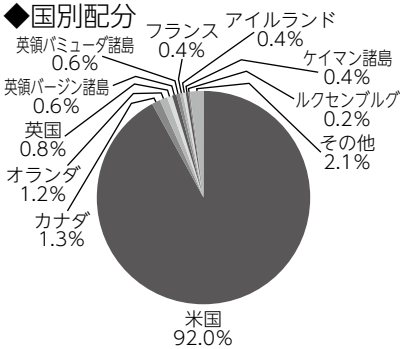
◆１口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

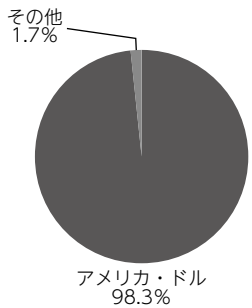
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）基準価額の推移はＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　米ドル建てアルファ毎月決算クラスの計算期間（決算日が休日の場合は前営業日まで）のものです。また、分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

（注２）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンドの決算日（決算日が休日の場合は前営業日）現在の状況を表示しております。

（注３）比率はＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

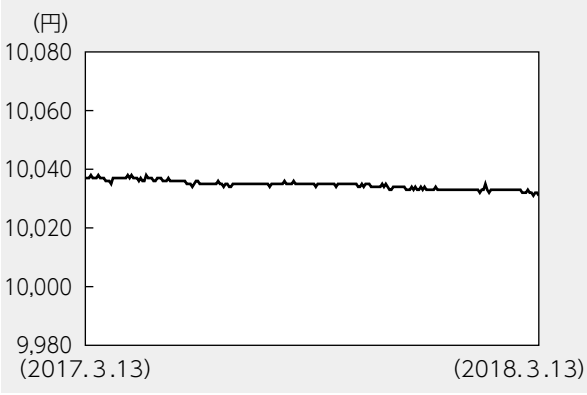
（注４）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注５）国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

（注６）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社である米国みずほ銀行のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

［ＤＩＡＭマネーマーケットマザーファンド］（計算期間　2017年３月14日～2018年３月13日）

◆基準価額の推移



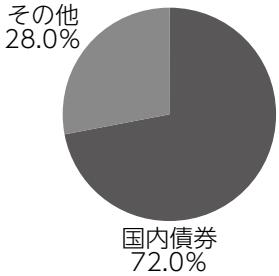
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
１１４回　利付国庫債券（５年）	日本・円	25.5%
４回　政保阪神高速道路会社債	日本・円	19.3
８７回　政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	11.7
８８５回　政保公営企業債券	日本・円	3.8
１５回　政保東日本高速道路債券	日本・円	2.6
２５年度３回　千葉市公募公債	日本・円	1.4
２１年度２回　京都府公募公債	日本・円	1.3
１６６回　神奈川県公募公債	日本・円	1.3
７回　政保地方公営企業金融機構債券	日本・円	1.3
２５年度８回　福岡県公募公債	日本・円	1.3
組入銘柄数	12銘柄	

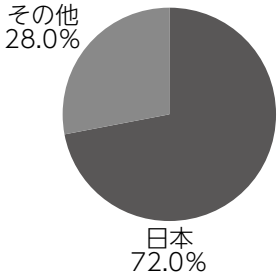
◆１万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

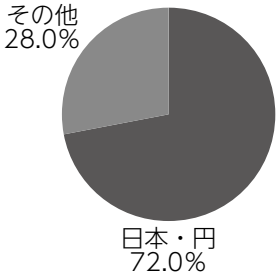
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注３）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注４）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
（注５）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（このページは白紙です）

（このページは白紙です）

Asset
Management
One